



『こもろのひろば こぼれ話』



～郷土の事柄をわかりやすく紹介するコーナーです～

「小諸図書館でファミリーヒストリー!？」

ある日、小諸駅の観光案内所から、「小諸市の昔（明治時代）の番地がわかる資料はありますか？」と問合せの電話がありました。

小諸図書館は開館から100年を超えていることもあり、江戸時代や明治時代の貴重な資料も所蔵しています。そこで、上記の問い合わせについて、心当たりの資料をあたってみることにしました。

すると、問合せがあった翌日、先祖のルーツを調べているというご家族が来館されました。お話を聞いてみると、「先祖が明治中期頃に与良地区で時計屋と医者をしていたらしい。その店があった場所が特定できたら見に行ってみたい」とのことでした。

小諸図書館に残る古い地域資料の中でも、与良区を含む旧小諸町地区については、商業地域として発展していたこともあって、商店の歴史や当時の広告などを扱った資料（『小諸繁昌記』）が残っており、そちらをご案内しました。その他に、与良区の区誌、現在の住宅地図などをご紹介。ご自身であたりをつけて来られた資料の閲覧も希望されたので、それらもご案内しました。与良区には地域の方が運営されている交流施設・与良館があるので、そちらで地域の方から情報を得ることができるかもしれませんとご紹介しました。また、その時偶然、与良区の歴史に詳しい方が来館されていたので、事情をお話したところ、そのご家族と直接お話しをしてくださるという一幕もありました。

有名人のルーツを紹介するテレビ番組がありますが、調査の場面で、公共図書館や文書館に所蔵している資料が登場することがあります。地域の資料を保存するのも公共図書館の大切な役割ですので、ご来館のご家族も、公共図書館に行けば、何か資料が保存されているのではと来館されたのでしょうか。

このように、図書館に所蔵している資料を使い調べものをサポートするサービスのことをレファレンスサービスといいます。小諸図書館では、個人や団体、市内外に関わらず、日々様々なレファレンスに対応しています。内容によっては、その場で資料を提供出来る時もあれば、時間をいただいて調査をする場合もあります。図書館でのレファレンスサービスは、この他にも多岐にわたります。これまでのレファレンスの内容をホームページの「レファレンス事例検索」というページでも公開していますので、興味がある方はご覧ください。

小諸図書館では、さまざまな調べごとのお手伝いをしているんだね。
わたしも、レファレンスサービスに興味がわいてきたよ♪



こもろのひろばキャラクター
うめちゃん

【参考資料】

『小諸繁昌記』塩川友衛 復刻編纂（櫟 2002）